

活火山の活動履歴と マグマ供給系の解明



大学院理工学研究部(理学)
准教授 石崎 泰男

研究のキーワード

噴火履歴、マグマ供給系、カルデラ、プリニー式噴火、火砕流、火山災害・防災

研究の内容

火山地質学とテフラ層序学を駆使し、国内の活火山の噴火履歴を解明しています。研究中の火山は、弥陀ヶ原火山、白山火山、草津白根火山、新潟焼山火山、富士火山などです。また、噴火物の鉱物学的岩石学的解析により、噴火時のマグマ溜りと火道の状態変化を復元し、噴火の引金となった現象を検出しています。学内共同利用機器EPMAの管理も行っています。

産学連携・特許

科研費等外部資金

平成28-30年度 基盤研究C「多量の高密度玄武岩質火砕物を噴出した特異なプリニー式噴火の発生条件解明と災害予測」(代表)

平成27年度 富山県受託研究「弥陀ヶ原火山の次期噴火の予測に向けての基礎研究」(代表)

平成23-25年度 基盤研究C「3個以上のマグマ溜りによる大規模火砕噴火に関する岩石学的研究」(代表)

その他、社会貢献・受賞など

2016年～ 弥陀ヶ原火山防災協議会(コメンター)

2012年 日本地質学会研究奨励賞(指導している大学院生との共著論文で受賞)

1997年 第34回日本岩石鉱物鉱床学会研究奨励賞(単著論文で受賞)

研究の概要図

